

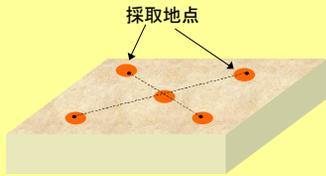
# 土壌分析を受けましょう

農業改良普及課では関係機関と共同で初夏に「土壌分析週間」を設け、土壌のpH、EC、リン酸、カリ、カルシウム、マグネシウム、腐植の7項目を診断しています。今年度は6月に予定していますので、土壌分析を希望される方は、以下の様に土壌サンプルを採取し、申請書（農業改良普及課又は各市町村窓口にあります）を添付の上お申し込み下さい。詳しい日程につきましては農業改良普及課および各市町村にお問い合わせください。例年多数の申し込みがあります。原則1圃場につき1土壌のお申込みでお願いいたします（小面積で多品目栽培されている場合も合わせて1圃場とします）。

## 1. 土壌を採取する場所について

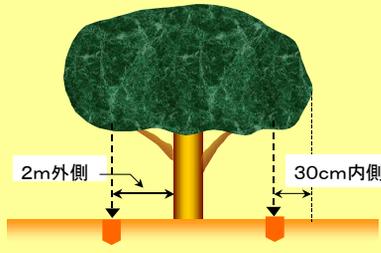
・畑土壤(施設含む)、水田土壤の場合

対角線上に圃場5カ所から採取します



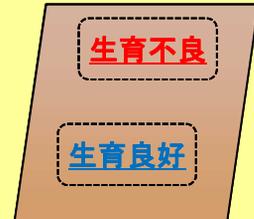
・果樹園土壤の場合

枝の先端から30cm内側の土壌を採取します。或いは樹幹から2m外側の土壌を採取します。※代表的な樹5本程度をから採取。

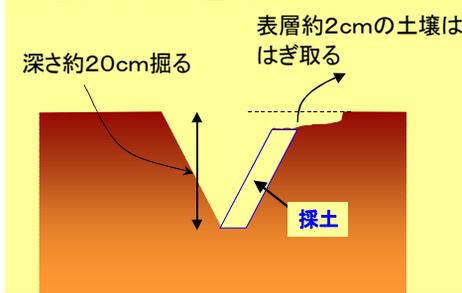


・生育不良の区画がある場合

局部的に生育不良のみられる圃場は、生育のいい区画と悪い区画のを分けて土壌を採取。（詳しく採取方法については農業改良普及課までお問い合わせ下さい。）



## 2. 土壌採取の仕方



表層を1～2cm(果樹は5cm)、はぎ取ってから、深さ約20cmV字型に掘ります。それから穴の斜面に沿って、一定の厚さを掘り取ります。

## 3. 土壌の乾燥



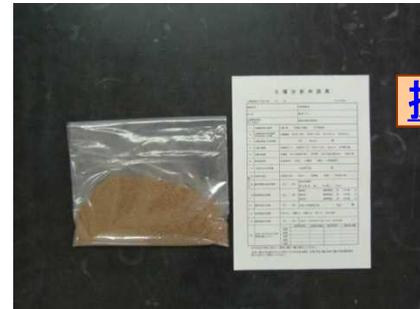
土を乾燥させる際は、採取土壌を細かくほぐし、新聞紙の上に土を広げます。雨に濡れない風通しの良いところで約1週間乾燥を行います。

## 4. 土壌の粉碎



小石や根などを取り除いた後、ビンなどで転がし、土壌を細かくしていきます。土壌粒子が約2mm以下になるまで粉碎しましょう！（ネットなどでふるう）

## 5. 土壌の提出



2mm以下に粉碎したら、土壌約300g(お茶碗1杯程度)をポリビニールに入れ、申請書を添付して提出してください。また袋にも名前、畑名を記入してください。ポリビニールの中に申請書と土壌を一緒に入れないよう注意してください！

普及課  
市町村等

次のような圃場では特に土壌分析をうけることをおすすめします

- ・新しく利用する圃場
- ・数年土壌分析を受けていない
- ・たい肥を毎年投入している
- ・主に有機質肥料を利用
- ・エコファーマーを取得したい
- ・収量や生育が落ちてきている、急に生育が変わった。

～注意～

- ・正確な分析のため土壌に堆肥、化成肥料、作物残渣が混ざらないようにしてください。
- ・湿った土壌、粉碎されていない土壌は分析できません。

問い合わせ先

- ・北部農林水産振興センター農業改良普及課 TEL:0980-52-2752
- ・各市町村

# 調査票記入事例

## 土 壌 分 析 申 請 票

※太枠内は必ずご記入ください。

土壌採取日：平成29年6月 日 受け付け担当者(組織)：農協きび太 ( JA ) サンプルNO

### 記入の注意

農家氏名： <b>山原 太郎</b>		出荷団体名：				
畑所在地： <b>名護市大南</b>		電話TEL： <b>0980-12-3456</b>				
土壌採取地名： <b>東①</b> または畑NO		栽培作物名(品種名)： <b>小ギク ( 秋芳 )</b>				
1.	土壌採取畑の条件	①露地 ②雨よけ施設 ③平張施設				
2.	土壌採取畑の使用経歴 (当作物を栽培しての年数)	①新開地 ②1年～5年 ③6年～10年 ④11年以上 ⑤20年以上				
3.	土壌を採取した畑面積	<b>1,500</b> m <sup>2</sup> または、 坪				
4.	土壌の種類	①国頭マージ ②島尻マージ ③ジャーガル ④カニク ⑤沖積土壌				
5.	土壌の性質	①砂質 ②やや砂質が多い ③中間 ④やや粘土質が多い ⑤粘土質				
6.	畑の排水性	①良過ぎる ②良い ③普通 ④悪い ⑤悪過ぎる				
7.	1作当たりの出荷量	kgまたは、 <b>32,000</b> 本				
8.	生育の状況	①非常に良い ②良い ③普通 ④悪い ⑤非常に悪い				
9.	養分障害の症状有無	なし・ <b>あり</b>	症状の特徴： <b>葉の黄化症がみられる。</b>			
10.	病気発生の有無	なし・ <b>あり</b>	発生程度：多い <b>やや多い</b> 少ない	病気名： <b>立枯病</b> 被害程度： 多 <b>やや多</b> 少		
		なし・ <b>あり</b>	発生程度：多 <b>やや多</b> 少	病気名： <b>褐斑病</b> 発生程度： 多 <b>やや多</b> 少		
		なし・ <b>あり</b>	発生程度：多 <b>やや多</b> 少	病気名： 発生程度： 多 <b>やや多</b> 少		
11.	堆肥の投入有無	なし・ <b>あり</b>	当畑への堆肥投入量 <b>2,000kg/ 450</b> 坪			
12.	使用堆肥の種類	①牛ふん ②鶏ふん ③豚ふん ④パーク ⑤その他( )				
13.	緑肥栽培の有無	なし・ <b>あり</b>	①ルゴ ②カウリヤ ③ビジョネー ④その他( )			
14.	当畑への1作当たりの肥料 施肥量について		使用肥料名	施肥量 袋数	使用肥料名	施肥量 袋数
		基肥	<b>アニマルベレット</b>	<b>12</b> 袋	<b>ミノマグ</b>	<b>6</b> 袋
		追肥	<b>アークコート</b>	<b>6</b> 袋		
		追肥	<b>アニマルベレット</b>	<b>6</b> 袋		

①畑所在地について  
所在地は市町村名、  
字名まで記入してくだ  
さい。

②作物名は、必ず書くよ  
うにしてください。

③1の②雨よけ施設は、  
ビニールハウス、ガラスハウスを  
含めるものとする。

④1作当たりの出荷量  
は、当畑からの前作の  
出荷量を記入する。

⑤養分障害の症状特  
徴として、

- 葉脈間の黄化
- 上位葉から黄化
- 下位葉から黄化
- 上位葉の生長停止
- 葉に斑点症状
- 葉縁から枯死
- 生長点の芯どまり、奇形、萎縮、
- 花の色抜け
- 茎の奇形、亀裂
- 葉の奇形、亀裂

などの症状があり、それ  
ぞれの特徴を記入する。

※できるだけ詳しく記入し、採取土壌と一緒に提出してください。

※同一畑内で生育のかたよりに及びバラツキがある場合、生育不良土壌と良好土壌の状況調査票を別々に記入して提出してください。

### ⑥肥料施肥量については、

前作の1作当たりの肥料施肥量を袋個数で、記入してください。  
肥料は商品名での記入をお願いします。

# 土 壌 分 析 申 請 票

※太枠内は必ずご記入ください。

土壌採取日:令和 年 月 日 受け付け担当者(組織): ( ) サンプルNO

農家氏名 :		出荷団体名 :				
畑所在地 :		電 話 TEL :				
畑名 : NO		栽培作物名(品種名) : ( )				
1.	土壌採取畑の条件	①露地 ②雨よけ施設 ③平張施設				
2.	土壌採取畑の使用経歴 (当作物を栽培しての年数)	①新開地 ②1年~5年 ③6年~10年 ④11年以上 ⑤20年以上				
3.	土壌を採取した畑面積	m <sup>2</sup> または、 坪				
4.	土壌の種類	①国頭マーヅ ②島尻マーヅ ③ジャーガル ④カニク(沖積土壌) ⑤その他				
5.	土壌の性質	①砂質 ②やや砂質が多い ③中間 ④やや粘土質が多い ⑤粘土質				
6.	畑の排水性	①良過ぎる ②良い ③普通 ④悪い ⑤悪過ぎる				
前 作 に つ い て	7.	1作当たりの出荷量	kgまたは、 本			
	8.	生育の状況	①非常に良い ②良い ③普通 ④悪い ⑤非常に悪い			
	9.	養分障害の症状有無	なし・あり	症状の特徴: 発生程度: 多い やや多い 少ない		
	10.	病気発生の有無	なし・あり	病気名: 被害程度: 多 やや多 少 病気名: 被害程度: 多 やや多 少 病気名: 被害程度: 多 やや多 少		
11.	堆肥の投入有無	なし・あり	当畑への堆肥投入量 kg/ 坪			
12.	使用堆肥の種類	①牛ふん ②鶏ふん ③豚ふん ④パーク ⑤その他( )				
13.	緑肥栽培の有無	なし・あり	①ルゴウ ②クロタリヤ ③ピジョンピー ④その他( )			
14.	当畑への1作当たりの肥料 施肥量について		使用肥料名	施肥量 袋数	使用肥料名	施肥量 袋数
		基肥				
		追肥				
		追肥				

※診断の参考とするためできるだけ詳しく記入し、採取土壌と一緒に提出してください。

※果樹類など永年作物で現在植えている場合には、現況の生育状況について、記入してください。

※同一畑内で生育のかたよりに及びバラツキがある場合、生育不良土壌と良好土壌の状況調査票を別々に記入して提出してください。